

校報

第九十六號

昭和三年十一月三日

東京女子高等師範學校

叙任及辭令

訓導寺谷朝藏

學校事視察ノ爲宮城福島岩手ノ三縣下ヘ出張ヲ命ス(三十日九)

雇島田一太郎

(十一月三)

書記西川眞澄

(三十日文部省)

大禮地方饗饌事務臨時係員ヲ嘱託ス(三十日文部省)

法令及規則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
附則

十月二十九日勅令第二百五十六號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制中左ノ通改正セラル

第六條中「生徒監」ヲ「生徒主事」ニ改メ「書記」ノ次ニ生徒主事補ヲ加フ

第九條 文部省直轄諸學校職員定員令ニ於テ生徒主

事ノ専任定員ヲ配置シタル學校ノ生徒主事ハ委任トシ其ノ他ノ學校ノ生徒主事ハ當該學校ノ委任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

生徒主事ハ校長ノ命ヲ承ケ生徒ノ訓育ヲ掌ル

第十條ノ二ヲ第十條ノ三トス

第十條ノ二 文部省直轄諸學校職員定員令ニ於テ生徒主事補ノ専任定員ヲ配置シタル學校ノ生徒主事補ハ判任トシ其ノ他ノ學校ノ生徒主事補ハ當該學校ノ判任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ命ス

生徒主事補ハ上官ノ命ヲ承ケ生徒主事ノ職務ヲ助ク

同日勅令第二百五十七號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中左ノ通改正セラル

教諭ノ欄ノ下ニ生徒主事ノ欄ヲ書記ノ欄ノ下ニ生徒主事補ノ欄ヲ加ヘ「中略」東京女子高等師範學校「中略」生徒主事及生徒主事補ノ各欄ニ「一人」ヲ加フ

彙

報

●即位禮祝賀式 十一月十日即位ノ禮ヲ行ハセラルルニ付當日左ノ次第ニ依リ祝賀式ヲ舉ク

即位禮祝賀式(十一月十日午後二時三十分)

一生徒、兒童、幼兒着席

二 職員着席

三 學校長着席

四 敬禮

五 御帳ヲ開ク

六 御影ヲ奉拜ス

七 唱歌「君が代」

八 教育ニ關スル勅語ヲ奉讀ス

九 學校長式辭

十 唱歌「大禮奉祝歌」

十一 萬歳奉稱(萬歳奉稱ハ紫宸殿ニ於テ萬歳ヲ稱フル時刻午後三時トス)

十二 御帳ヲ閉ツ

十三 敬禮

十四 學校長、職員、生徒順次退場

●大禮參列者 學校長吉岡郷甫ハ文部省部内勅任官、
同待遇總代トシテ教授堀口きみこハ文部省部内奏任官

同待遇總代トシテ大禮諸儀ニ參列スルコトトナレリ
●判任官參賀 十月八日秘書課長ヨリ左ノ通達牒アリ
來ル十一月十日即位ノ禮ヲ行ハセラルルニ付判任官一同參賀ノ爲午前十時半本省へ參集相成候様致度追テ總代ヲ選定シテ參集セシメラル、モ差支ナシ
●地方饗饌 即位禮及大嘗祭後大饗第一日ノ儀ノ當日(十一月十六日)地方ニ於テ左ノ諸員ニ饗饌ヲ賜フ(七月二十六日官報大禮使彙報抄出)
高等官、同待遇
從六位以上ノ有位者
勳六等、功六級以上ノ帶勳者
在職判任官二等以上、同待遇者
當日ノ服裝ハ男子ハ大禮服、通常禮服(燕尾服)通常服又ハ(フロックコート)トシ〔己ムヲ得サル事情ノ爲成規ノ服裝ヲ整ヘ難キモノアル場合、男子ハモーニングコート、紋服、紋附羽織(縫紋ヲ除ク)袴ヲ着用スルモ不苦(秘書課長通牒)〕女子ハ中禮服(ローブデコルティー)、通常服(ローブモンタント)、桂袴又ハ白襟紋附トス
●還幸奉迎 大禮ノ爲天皇陛下京都行幸及東京還幸ノ節本校並第六臨時教員養成所職員生徒ハ別記ノ員數ニ

限リ宮城前ニ於ケル本省指定ノ場所ニ整列奉迎スヘキ
旨文部次官ヨリ通牒アリタリ

十一月二十七日(午前十一時半所)
(定ノ位置ニ整列)

本校 二七名 生徒 四六名

第六臨時教員養成所 職員 一二名 生徒 一七名

附屬高等女學校 職員 一四名 生徒 三五名

附屬小學校 職員 一〇名

附屬幼稚園

職員 一名

同	附屬小學校兒童	五九四	二九七	〇〇
計		二、一四一	一、一三四	八四
同	附屬幼稚園幼兒	一六一	八〇	五〇
記		二、一四一	一、一三四	八四
長男爵阪谷芳郎氏宛寄附ノ手續ヲ了シタリ				

●大禮記念事業費 本校並ニ第六臨時教員養成所職員
生徒兒童及幼兒ノ醸出ニ係ル大禮記念事業費ハ左記ノ
通纏リタルニ付當分ノ間之ヲ保管スルコトトシ株式會
社三井銀行ノ定期預金ニ預入手續ヲ了シタリ

區	分	醸出人員	醸金額	
本校	職員	一六〇人	一四四四	
第六臨時教員養成所職員	一八	八	七二	
本校生徒	四二三	二一一〇〇	六二	
第六臨時教員養成所生徒	一〇六	五三〇〇	四二	
本校附屬高等女學校生徒	六八〇	三四〇〇	一〇六	
第六臨時教員養成所生徒	九六	二四四	二一三六	計
本校附屬高等女學校生徒	一〇〇	二一三六	二、一三六	

雜

錄

四

●職員轉居 職員中轉居セルモノ左ノ如シ
市外中野町小下三七五へ

講師林太郎
嘱託橋田弘久
市外代々幡町幡ヶ谷二一〇岡崎方